

日本点字図書館 秋のチャリティ映画会

星に語りて

Starry Sky



2011年 3月11日 障害のある人と支援者の物語。

2019年9月12日(木)

* 18:50~ 舞台挨拶会

ゲスト:企画 きょうされん専務理事 藤井克徳氏
19:00~映画上映開始
(18:30開場/20:55終演予定)

* なかのZERO 大ホール

* 料金1500円 全席自由席

※当日券のみ小人・学生800円(学生は学生証をご提示ください)

◎視覚障害者のための音声解説と
聴覚障害者のための字幕付き上映

◎後援

きょうされん
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
社会福祉法人 読売光と愛の事業団
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団

◎お問い合わせ

社会福祉法人日本点字図書館 総務部総務課
☎03-3209-0241
〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4
✉ nitten@nittento.or.jp

郵便振替による申し込みやインターネット
ショッピングサイト「わくわく用具ショップ」
からお求めいただけます。

★郵便振替 00160-2-100288
★「わくわく用具ショップ」で検索



読める、しあわせ

社会福祉法人日本点字図書館



キャスト

要田禎子	：	今村澄子
螢雪次朗	：	小沢隆
今谷フトシ	：	森川秀二
植木紀世彦	：	大島明
枝光利雄	：	浦田光明

スタッフ

監督	：	松本 勲
制作総括	：	西村 直
企画	：	藤井克徳
脚本	：	山本おさむ

2019年／日本映画／115分

～ 物 語 ～

東日本大震災を背景に、被災した障害者と支援者たちの活動を描く劇映画。岩手県陸前高田市の高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたが、仲間の一人を失った。落胆する利用者たちを所長が励ましなが、一日も早く日常を取り戻すために歩み始めようとしていた。

また全国障害者ネットワークでは、全国のグループが被災地の支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。避難所を回っても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所の事故によって避難を余儀なくされた南相馬市では、避難できずに取り残されている人の存在を知った共同作業所「クロズドハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み出そうとしたが、そんな彼らの前にさまざまな困難が立ちはだかる。

～ 解 説 ～

2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したわが国の観測史上最大の地震、東日本大震災。この震災を背景に、障害者向け共同作業所の連絡会である「きょうされん」が結成40周年を記念して製作した。

東日本大震災の被害は、多くの人々の心に刻まれているが、18,000人を超える死者の中で、障害のある人の死亡率が全住民の2倍だという事実を知る人は少ないのではないだろうか。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その実情を描き出す群像劇となっている。

視覚障害者のための音声解説が音声と共にスピーカーから流れ、聴覚障害者のためにバリアフリー日本語字幕がつく、バリアフリー上映です。



ごあいさつ



社会福祉法人日本点字図書館
理事長 田中徹二

私ども日本点字図書館は、点字図書や録音図書・録音雑誌の貸出と、インターネットを介した点字・録音データの配信を行い、視覚障害者に情報提供をしております。

全国の利用者の要望に応え、サービスを支えるには財政面での負担も大きく、毎年多くの篤志家からのご寄付により運営が成り立っております。このチャリティ映画会による貴重な収益も、視覚障害者への情報提供の費用に充てさせていただきます。

今回の映画会は日本映画「星に語りて Starry Sky」を上映いたします。東日本大震災を背景に、災害で被災した障害者と支援者たちの活動を、実話をもとに描いたヒューマンドラマです。皆様にご満足いただけるものと存じますので、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

また、当日券のみですが、小人・学生料金を設けております。若い世代の方たちに当館と関わりを持っていただき、これからの当館を支えていただきたいとの願いからです。ご協力をよろしくお願いいたします。

日本点字図書館の主な仕事

- ・点字図書の製作と無料貸出
- ・録音図書の製作と無料貸出
- ・視覚障害者図書情報サービス
- ・視覚障害者生活用具の開発と普及
- ・視覚障害者の自立支援事業